

新規就農支援事業の取組概要

1 現況と課題

1 現況

農業従事者の高齢化及び後継者不足などによる農業者数の減少により、農業生産基盤の衰退が懸念されていることから、各種事業の実施によって円滑な就農の推進を図り、農業の担い手を確保し、持続可能な農業を将来にわたり実現する必要があります。〔新規就農者確保目標：10人/年〕

○新規就農者の推移

	R02	R03	R04	R05	累計 (H24～)
合計	25人	15人	9人	26人	190人
うち青年	23人	11人	4人	17人	151人

〔傾向〕 ・雇用就農が増加し、一部は独立して新規就農へ移行
・親元就農給付金の成果により、親元就農が増加

○農家・農業経営体・農業従事者の状況 (2020農林業センサスより)

	農家数 (戸)	農業経営体数 (経営体)	農業従事者数 (人)
H22	4,550	3,401	10,246
H27	4,081	2,866	7,830
R02	3,263	2,249	5,822

2 課題

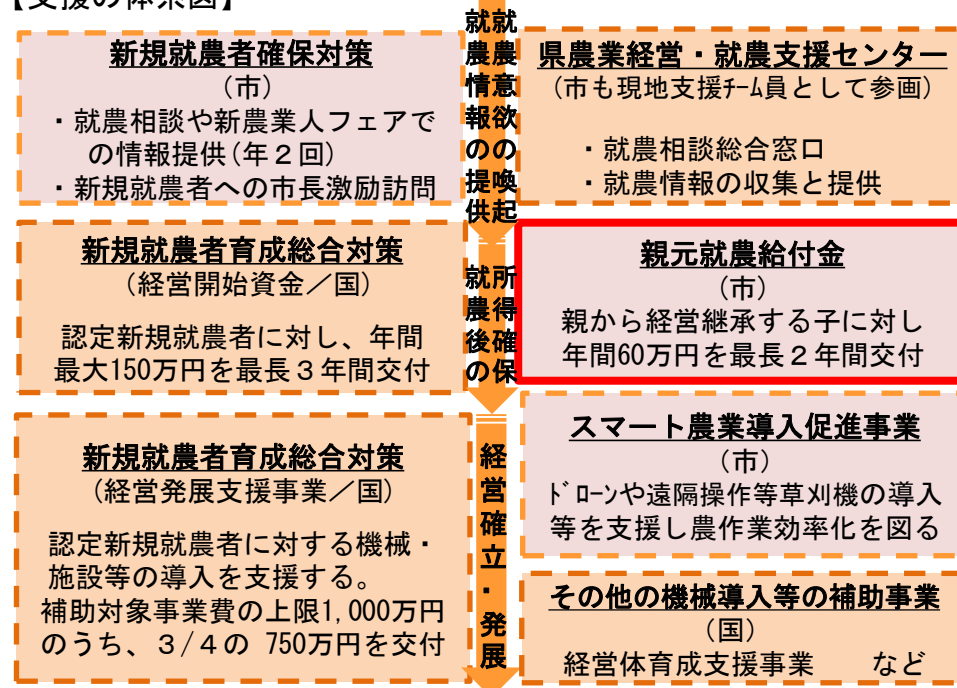
- ・経営資源の次世代への継承
- ・新規参入に向けた条件整備
- ・農作業の効率化、省力化への支援

2 今後の取組

1 新規就農支援事業

新たな農業の担い手を確保するため、就農準備段階から経営開始後まで一貫した支援体制を構築し、担い手の確保・育成を図ります。

【支援の体系図】



寄付金の活用

事業内容にご賛同いただきお預かりする寄付金は、親元就農給付金に活用させていただきます。